

# 広島県感染症発生動向月報

[ 広島県感染症予防研究調査会 ]

( 平成27年6月解析分 )

## ■ 今月のトピックス ～これからの時期に注意すべき感染症について～

ヘルパンギーナ及び咽頭結膜熱の定点医療機関からの患者報告数が増加しています。これらの疾患は、毎年初夏から秋にかけて流行する、いわゆる「夏かぜ」の代表的なもので、これから更に患者数が増加することが予想されます。

### 1 ヘルパンギーナ

【病原体】主としてA群コクサッキーウイルス

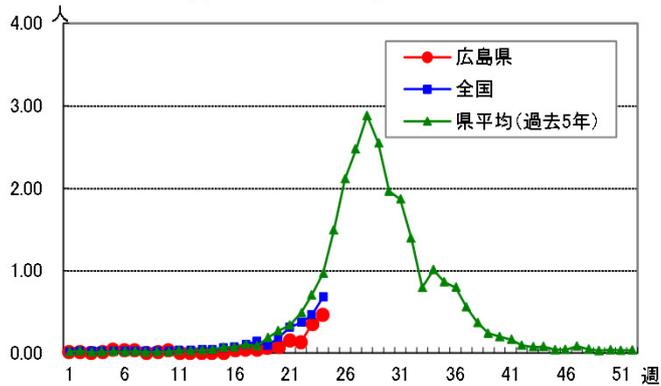
【症状】2～4日の潜伏期の後、突然の発熱に続いて咽頭粘膜の発赤が顕著となり、口腔内に水疱が現れます。水疱は破れて痛みも伴います。

【感染経路】接触感染、咳やくしゃみ等による飛沫感染です。

【予防方法】手洗い、うがい、咳エチケットが有効です。



一医療機関当たりの患者数 (H27 広島県)



### 2 咽頭結膜熱

【病原体】アデノウイルス

【症状】3～5日の潜伏期間の後、発熱、咽頭炎、結膜炎を呈します。

【感染経路】接触感染、咳やくしゃみ等による飛沫感染です。

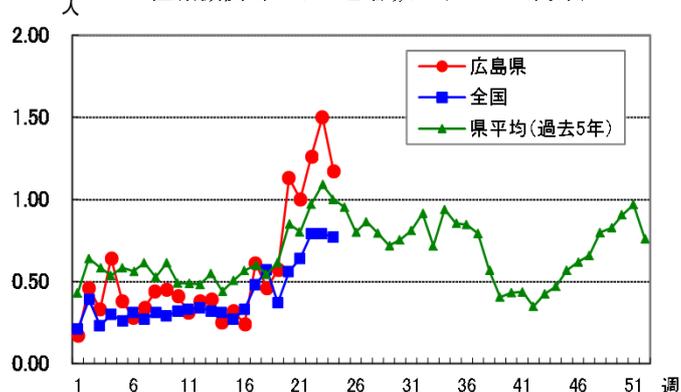
【予防方法】手洗い、うがい有効です。プールや温泉施設を利用する際は、前後にシャワーを必ず浴び、タオルの共用は避けましょう。

【その他】プールでの感染も多くみられることから「プール熱」とも呼ばれています。

平成27年5月21日に「咽頭結膜熱警報」を発令し、感染の予防及び拡大防止の徹底について注意喚起を行っています。

なお、県内では西部東保健所管内(竹原市、東広島市、大崎上島町)及び北部保健所管内(三次市、庄原市)で定点医療機関からの患者報告数が多い状況が続いており、注意が必要です。

一医療機関当たりの患者数 (H27 広島県)



## 2 疾患別定点情報

### (1) 定点把握(週報)五類感染症

平成27年5月分(平成27年5月4日～平成27年5月31日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	211	0.46	0.67	↓	11	ヘルパンギーナ	29	0.10	0.26	↑
2	RSウイルス感染症	22	0.08	0.17	↓	12	流行性耳下腺炎	192	0.67	0.78	↗
3	咽頭結膜熱	285	0.99	0.78	↑	13	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1055	3.66	1.91	↗	14	流行性角結膜炎	47	0.62	0.99	↗
5	感染性胃腸炎	1745	6.06	7.53	↘	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	115	0.40	1.33	↗	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.03	
7	手足口病	242	0.84	0.93	↗	17	マイコプラズマ肺炎	18	0.21	0.18	↗
8	伝染性紅斑	35	0.12	0.20	↗	18	クラミジア肺炎	1	0.01	0.00	
9	突発性発しん	140	0.49	0.53	→	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	36	0.43	—	↘
10	百日咳	4	0.01	0.07							

### (2) 定点把握(月報)五類感染症

平成27年4月分(5月1日～5月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	50	2.17	2.48	→	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	76	3.62	5.19	→
21	性器ヘルペスウイルス感染症	16	0.70	0.85	↗	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	6	0.29	1.27	↘
22	尖圭コンジローマ	16	0.70	0.75	↗	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.09	
23	淋菌感染症	22	0.96	0.96	↗						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

#### 急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 咽頭結膜熱(0.41→0.99)  
ヘルパンギーナ(0.03→0.10)
- 急減疾患 インフルエンザ(1.46→0.46)  
RSウイルス感染症(0.16→0.08)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

## 3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	41	結核(41)〔西部保健所(1),西部東保健所(3),東部保健所(5),北部保健所(3),広島市保健所(11),呉市保健所(9),福山市保健所(9)〕
三類	7	腸管出血性大腸菌感染症(7)〔広島市保健所(5),呉市保健所(1),福山市保健所(1)〕
四類	10	日本紅斑熱(7)〔西部保健所(2),東部保健所(3),福山市保健所(2)〕, 重症熱性血小板減少症候群(1)〔呉市保健所(1)〕,レジオネラ症(2)〔西部保健所(1),北部保健所(1)〕
五類全数	15	アメーバ赤痢(1)〔広島市保健所(1)〕,ウイルス性肝炎(E型,A型を除く)(1)〔広島市保健所(1)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(5)〔西部保健所(2),広島市保健所(3)〕, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔呉市保健所(1),福山市保健所(1)〕, 後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所(1)〕,侵襲性肺炎球菌感染症(2)〔東部保健所(1),福山市保健所(1)〕, 梅毒(1)〔広島市保健所(1)〕,風しん(2)〔広島市保健所(1),呉市保健所(1)〕